

—シビックプライドランキング 2018（関東・関西）発表— シビックプライド 総合1位は『港区』

シビックプライド指標別ランキング

“愛着”1位は『藤沢市』 “誇り”1位は『港区』 “共感”1位は『箕面市』

株式会社 読売広告社（本社：東京都港区 代表取締役社長：藤沼大輔）ひとまちみらい研究センターとR & D局では、関東圏（1都6県）・関西圏（2府4県）における住民人口10万人以上の自治体（151自治体）居住者を対象に、住民の街への意識を測る調査“シビックプライド調査 2018”を実施しましたので、その結果の概要についてお知らせいたします。

調査結果概要（TOP5）

総合ランキング

順位	自治体名
1位	港区（東京都）
2位	文京区（東京都）
3位	中央区（東京都）
4位	藤沢市（神奈川県）
5位	鎌倉市（神奈川県）

シビックプライド5指標別ランキング

愛着ランキング

1位	藤沢市（神奈川県）
2位	鎌倉市（神奈川県）
3位	神戸市（兵庫県）
4位	中央区（東京都）
5位	港区（東京都）

誇りランキング

1位	港区（東京都）
2位	鎌倉市（神奈川県）
3位	中央区（東京都）
4位	文京区（東京都）
5位	目黒区（東京都）

共感ランキング

1位	箕面市（大阪府）
2位	文京区（東京都）
3位	港区（東京都）
4位	海老名市（神奈川県）
5位	藤沢市（神奈川県）

継続居住意向ランキング

1位	藤沢市（神奈川県）
2位	中央区（東京都）
3位	港区（東京都）
4位	文京区（東京都）
5位	海老名市（神奈川県）

他者推奨意向ランキング

1位	港区（東京都）
2位	文京区（東京都）
3位	鎌倉市（神奈川県）
4位	神戸市（兵庫県）
5位	藤沢市（神奈川県）

読売広告社は、2008年より市民や街に関わる人たちが、その地域、街に対して持つ意識「シビックプライド」に関する研究を行っています。今後も継続的に調査・研究活動に取り組むことで、地域社会の発展及び、生活者サービスの向上に役立つ情報を提供してまいります。

調査設計概要

調査目的

以下の2点を把握することを目的とする

- 自治体別シビックプライドスコアの把握とランキングの作成
- シビックプライド向上の要因と、その効果に関する考察

調査対象

<調査対象>

以下対象エリアの自治体に住む20代～50代の男女

<対象エリア>

関東圏、関西圏における人口10万人以上の151自治体

※関東圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県

関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県

－対象自治体一覧－

茨城県	東京都23区	東京都市部	埼玉県	千葉県	神奈川県	滋賀県	大阪府	兵庫県
水戸市	中央区	八王子市	さいたま市	千葉市	横浜市	大津市	大阪市	神戸市
つくば市	港区	町田市	川口市	船橋市	川崎市	草津市	堺市	姫路市
日立市	新宿区	府中市	川越市	松戸市	相模原市	長浜市	東大阪市	西宮市
ひたちなか	文京区	調布市	所沢市	市川市	藤沢市	東近江市	枚方市	尼崎市
古河市	台東区	西東京市	越谷市	柏市	横須賀市	彦根市	豊中市	明石市
土浦市	墨田区	小平市	草加市	市原市	平塚市	京都府	吹田市	加古川市
取手市	江東区	日野市	春日部市	八千代市	茅ヶ崎市	京都市	高槻市	宝塚市
筑西市	品川区	三鷹市	上尾市	流山市	厚木市	宇治市	茨木市	伊丹市
栃木県	目黒区	立川市	熊谷市	佐倉市	大和市		八尾市	川西市
宇都宮市	大田区	東村山市	新座市	習志野市	小田原市		寝屋川市	三田市
小山市	世田谷区	多摩市	狭山市	浦安市	秦野市		岸和田市	奈良県
栃木市	渋谷区	武蔵野市	久喜市	野田市	鎌倉市		和泉市	奈良市
足利市	中野区	青梅市	入間市	木更津市	海老名市		守口市	橿原市
佐野市	杉並区	国分寺市	深谷市	成田市	座間市		箕面市	生駒市
那須塩原市	豊島区	小金井市	朝霞市	我孫子市	伊勢原市		門真市	和歌山県
	北区	東久留米市	戸田市	鎌ヶ谷市			大東市	和歌山市
	荒川区	昭島市	三郷市				松原市	
	板橋区	群馬県	鴻巣市				富田林市	
	練馬区	高崎市	加須市				羽曳野市	
	足立区	前橋市	ふじみ野市					
	葛飾区	太田市	富士見市					
	江戸川区	伊勢崎市	坂戸市					
		桐生市						

調査内容

- ・居住する自治体に対する意識（一街に対する意識（愛着、誇り、共感など）一街の環境（インフラ、街並みなどの評価）一街のイメージ）
- ・居住する都道府県に対する意識
- ・住む街に対して重視するポイント
- ・今住んでいる街がもっと好きになる／嫌いになる条件
- ・居住歴
- ・今後の居住予定
- ・地元回帰願望
- ・現在の住居形態 など

有効回収数

8,487s ※各自治体50s以上回収

調査方法

インターネット調査

調査時期

2018年3月

調査結果 1

- ▶総合ランキングでは、東京23区、神奈川の湘南エリアに加え、箕面市（大阪府）、海老名市（神奈川県）、神戸市（兵庫県）などが上位にあがりました。東京都 市部では八王子市がTOP10にランクインしています。
- ▶TOP10であげられた都道府県以外については、京都府宇治市が11位、千葉県成田市が14位、滋賀県大津市が18位と上位にあがっています。

※シビックプライド5指標別ランキングについては次ページをご参照ください。

総合ランキング（1位～20位）

順位	自治体名	得点			
1位	港区（東京都）	731.4	11位	宇治市（京都府）	683.4
2位	文京区（東京都）	720.3	12位	三鷹市（東京都）	682.0
3位	中央区（東京都）	716.0	13位	武蔵野市（東京都）	678.0
4位	藤沢市（神奈川県）	715.7	14位	成田市（千葉県）	676.0
5位	鎌倉市（神奈川県）	713.7	15位	渋谷区（東京都）	675.4
6位	箕面市（大阪府）	708.0	16位	吹田市（大阪府）	674.9
7位	海老名市（神奈川県）	702.9	17位	江東区（東京都）	672.3
8位	神戸市（兵庫県）	701.7	18位	大津市（滋賀県）	670.6
9位	目黒区（東京都）	693.4	19位	品川区（東京都）	670.3
10位	八王子市（東京都）	686.3	20位	伊丹市（兵庫県）	670.0

※総合ランキングの得点は、「愛着」「誇り」「共感」「継続居住意向」「他者推奨意向」5指標のスコアを足し上げ、1000点満点化したものです。

なお、5指標のスコアについては、以下質問内容を[非常にあてはまる～まったくあてはまらない]の7段階で聴取し、[非常にあてはまる]を7点～[まったくあてはまらない]を1点とし、平均値を算出しています。（各指標のランキングは平均値の大きさを元に順位づけしています）

【愛着】「この街に愛着を持っている」

【誇り】「この街に誇りを持っている」

【共感】「この街（のあり方）に共感している」

【継続居住意向】「今後もこの街に住み続けたい」

【他者推奨意向】「この街を人にも勧めたい」

※全151自治体の結果のうち、20位までを本リリースでは掲載しています。

シビックプライド5 指標別ランキング（1位～20位）

愛着

順位 自治体名

1位	藤沢市
2位	鎌倉市
3位	神戸市
4位	中央区
5位	港区
6位	八王子市
7位	箕面市
8位	平塚市
9位	江東区
10位	宇治市
11位	文京区
12位	三鷹市
13位	長浜市
14位	茅ヶ崎市
15位	茨木市
16位	品川区
17位	横浜市
18位	海老名市
19位	伊丹市
20位	世田谷区

誇り

順位 自治体名

1位	港区
2位	鎌倉市
3位	中央区
4位	文京区
5位	目黒区
6位	箕面市
7位	藤沢市
8位	海老名市
9位	神戸市
10位	渋谷区
11位	三鷹市
12位	宇治市
13位	茨木市
14位	横浜市
15位	大津市
16位	武蔵野市
17位	吹田市
18位	ひたちなか市
19位	八王子市
20位	杉並区

共感

順位 自治体名

1位	箕面市
2位	文京区
3位	港区
4位	海老名市
5位	藤沢市
6位	成田市
7位	中央区
8位	武蔵野市
9位	目黒区
10位	八王子市
11位	鎌倉市
12位	伊丹市
13位	品川区
14位	三鷹市
15位	神戸市
16位	渋谷区
17位	豊中市
18位	豊島区
19位	宇治市
20位	枚方市

継続居住意向

順位 自治体名

1位	藤沢市
2位	中央区
3位	港区
4位	文京区
5位	海老名市
6位	宇治市
7位	八王子市
8位	江東区
9位	鎌倉市
10位	神戸市
11位	箕面市
12位	茅ヶ崎市
13位	宝塚市
14位	豊島区
15位	目黒区
16位	立川市
17位	平塚市
18位	茨木市
19位	台東区
20位	伊丹市

他者推奨意向

順位 自治体名

1位	港区
2位	文京区
3位	鎌倉市
4位	神戸市
5位	藤沢市
6位	箕面市
7位	海老名市
8位	中央区
9位	目黒区
10位	吹田市
11位	武蔵野市
12位	杉並区
13位	台東区
14位	三鷹市
15位	成田市
16位	品川区
17位	大津市
18位	豊中市
19位	つくば市
20位	西宮市

■シビックプライド調査 (Civic Pride Research)とは

「シビックプライド／Civic Pride」について、読売広告社では2008年よりシビックプライド研究会に参画、継続的な調査・研究（及びコンサルティング）をおこなっています。

「シビックプライド調査 (Civic Pride Research)」は、2008年より読売広告社が提供する、市民の街への意識を、「愛着」「誇り」「共感」「継続居住意向」「他者推奨意向」の5指標で測定するオリジナル調査です。

□「シビックプライド調査」について詳細を記載した

「Civic Pride Research ガイドブック」を無料で配布しております。今回リリースした2018調査結果ランキングの20位以降順位も一部掲載しています。

ご興味のある方は、以下のアドレスまでご連絡ください。

ご希望される方に、PDFファイルにてお送りさせていただきます。

Civic Pride Research
ガイドブック
〈Civic Pride Research 2018 結果ランキングつき〉



メール宛先：cpride-rg@yomiko.co.jp

シビックプライド CivicPride 「シビックプライド／CivicPride」は、株式会社読売広告社の登録商標です。

■ひとまちみらい研究センターについて



ひとまちみらい
研究センター

“ひとまちみらい研究センター”は、地方創生の主要ニーズである「観光振興」「産品開発(拡販)」「移住定住(促進)」に対して独自のソリューションを提供するプランニングチームです。地域が抱える課題に向け、潜在価値をさらに高めるためのモノ・コト・場づくり、そして最も私たちが重視する担い手(ヒト)づくりまでワンストップでサポートします。そして、そのプロセスや背景を物語化して、共感醸成を目指した戦略的情報発信を行うというアプローチを基本に、街づくり・地域創生コンサルティングを行っています。

会社概要

株式会社読売広告社

- 代表者 : 代表取締役社長 藤沼大輔
- 所在地 : 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル
- 設立年月日 : 1946年7月11日

お問い合わせ先

■シビックプライド調査 (Civic Pride Research) について

・ R & D局 ナレッジ研究ルーム Civic Pride Research チーム : 上野、関、齋藤

メール cpride-rg@yomiko.co.jp

■街づくり・地域創生コンサルティングについて

・ひとまちみらい研究センター : 柿沼

URL <http://www.hitomachimirai.jp/>

メール hitomachi@yomiko.co.jp

■本リリースについて

総務部 : 富永、横田

TEL 03-5544-7104